

平成30年度 球美中学校各教科シラバス

教科名	中学1年 国語科
教科担当	新崎 昌代
教科書名	新しい国語（東京書籍）
副教材名	国語の学習（浜島書店）…国語ワーク 積み上げ 国語（明治図書）…単元テスト 国語便覧（浜島書店） 国語辞典（各自）

はじめに：これから始まる学習に積極的に意欲を持ち、自ら学ぶ力を育成する（本校教育目標：知の側面）ことをめざし、教科ガイダンスを実施します。この1年間の学習について教科シラバスを示して説明します

21世紀は、知的基盤社会といわれています。球美中学生のみなさんがこの社会で、①生きていくため、②あこがれの職業につくため、③夢を実現するためには、中学校の各教科の授業の中で身につける「自ら学ぶ力」が、みなさんの将来に大きな力となって役立ちます。
球美中学校の各教科担当（教科の先生）は、みなさんに、「自ら学ぶ力」が身に付くよう、「今日の目標 → 目標を達成するための授業・活動 → 今日の目標が達成できたかのまとめ・振り返り」による「わかる授業」を学校全体で実践します。
生徒の皆さんは、各教科の授業内容が実生活が繋がっていることを実感し、各教科が示す「基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得」できるよう努力してください。さらに、「各教科で学んだ基礎的・基本的な知識・技能を生かす活用する活動」に積極的に取り組んで下さい。この地道な努力が、「なりたい自分」から「なれる自分」の過程に好影響をもたらします。
教科の学びの習得は、あなたの夢をひろげます。ともに頑張りましょう!!

1 国語科の学習について

学習のねらい	(1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。 (2) 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。
授業のすすめ方	(1) 授業の流れは①言語事項の基礎基本（漢字学習）②めあての提示③課題に向き合う場面（交流）④まとめ・振り返りの流れで進めていきます。 (2) 「話すこと・聞くこと」に関しては、話す聞く単元の学習や各学期に1度のスピーチ、聞き取りテストを通して、学習を深めていきます。 (3) 「読むこと」に関しては、教科書の本文を読んで、考えたこと感じたことを友達と交流しながら考えを深めていきます。 (4) 「書くこと」に関しては、自分の意見や主張を書いて交流したり、授業中の学習の様子をノートに書いてまとめたりします。週末課題で200字作文に取り組み、自分の意見を表現する場を設けます。
学習上の留意点	国語は「言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力」をつけるための授業です。そのために (1) 自分の意見を持って積極的に表現しましょう。 (2) 友達との交流を通して、自分の意見考えを深めましょう。 (3) 授業中の大事なところはメモを取り、ノートは「自分の参考書」にしましょう。 (4) 家庭学習は授業で習った勉強と同じくらい大事です。必ず提出しましょう。

2 評価について

評価方法	評価は5つの観点で行います。 (1) 関心・意欲・態度…授業態度、プリントの保存（ファイル）、宿題の提出率 (2) 話すこと・聞くこと…スピーチ、授業中の発表、聞き取りテスト、単元のテスト (3) 書くこと…定期テスト、ノート、作文、 (4) 読むこと…定期テスト、単元テスト (5) 言語事項…漢字テスト、定期テスト、単元テスト
定期テスト	定期テストは3つの観点から出します。 読むこと…50～60% 言語事項…30～40% 書くこと…10%

3 年間指導計画

月	主な学習内容および項目	教材・教具等
4月	第1時 教科ガイダンス *基礎テスト *標準学力検査 ※教科シラバスを用いて学習内容や評価方法について説明する。 風の五線譜 話し方はどうかな 音声の働きや仕組み	国語の持ち物 ①国語辞典 ②教科書 ③ノート ④ワーク（国語の学習） ⑤国語便覧 ⑥ファイル
5月	文法とは・言葉の単位 活字と書き文字・画数・筆順 飛べかもめ 会話が弾むように質問をしよう	⑥ファイル 文房具（シャーペン、赤ペン、消しゴム、定規）
6月	つなぐ言葉指し示す言葉 オオカミを見る目 文の成分 音読み・訓読み *1学期期末テスト	
7月	意見文 暑中見舞いを書こう	
8月	碑 本で世界を広げよう *2学期実力テスト	
9月	シカの落ち穂拾い 順序立てて説明する 単語の分類 漢字の部首	
10月	古典作品教科月間 月夜の浜辺 伊曾保物語 *2学期中間テスト	
11月	竹取物語 矛盾 案内や報告の文章を書こう	
12月	名詞 *2学期期末テスト 少年の日の思い出 語の意味と文脈・多義語	
1月	集まって住む ニュースの見方を考えよう	
2月	学校新聞の記事を書こう 漢字の成り立ち *学年末テスト	
3月	グループディスカッション 名づけられた葉	

4 授業をうける心構え

- ・チャイムが鳴る1分前には授業の準備をして着席し、立腰・黙想を行います。
- ・質問があるときや問いに答えるときは、黙って右手を真っ直ぐ挙げます。（無言挙手）
- ・今日の授業では何を学習するのかを確認し、目的意識をもって臨みましょう。
- ・わかったことや、自分の考えを積極的に発表しましょう。
- ・わからないことを教え合ったり、みんなの意見を聞いて考えを深めるなど、他の人とも協力して学習に取り組ましましょう。
- ・ノートは黒板に書かれたことと、先生が授業で話した大事なこと、自分で気づいたことや調べたことを工夫してまとめましょう。
- ・学習課題をじっくり考え、わかったこと、課題を解決できたことに自信を持ちましょう。
- ・宿題、ノートやワークなどの提出物は期日を守りましょう。

5 家庭学習のアドバイス

- ・漢字の練習は声に出して勉強すると覚えやすいと言われています。手・目・耳・口を使って覚えましょう。
- ・教科書をすらすら読めることは、基礎中の基礎です。しっかりできるようにしましょう。
- ・テストで間違えた問題は必ず復習しましょう。
- ・漢字検定にも積極的に挑戦しましょう。（合格した人は成績に加味します）

平成31年度 球美中学校各教科シラバス

教科名	中学2年 国語科
教科担当	国吉 尚子
教科書名	新しい国語（東京書籍）
副教材名	国語の学習（浜島書店）…国語ワーク 積み上げ 国語（明治図書）…単元テスト 国語便覧（浜島書店） 国語辞典（各自）

はじめに：これから始まる学習に積極的に意欲を持ち、自ら学ぶ力を育成する（本校教育目標：知の側面）ことをめざし、教科ガイダンスを実施します。この1年間の学習について教科シラバスを示して説明します

21世紀は、知的基盤社会といわれています。球美中学生のみなさんがこの社会で、①生きていくため、②あこがれの職業につくため、③夢を実現するためには、中学校の各教科の授業の中で身につける「自ら学ぶ力」が、みなさんの将来に大きな力となって役立ちます。

球美中学校の各教科担当（教科の先生）は、みなさんに、「自ら学ぶ力」が身に付くよう、「今日の目標 → 目標を達成するための授業・活動 → 今日の目標が達成できたかのまとめ・振り返り」による「わかる授業」を学校全体で実践します。

生徒の皆さんは、各教科の授業内容が実生活が繋がっていることを実感し、各教科が示す「基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得」できるよう努力してください。さらに、「各教科で学んだ基礎的・基本的な知識・技能を生かす活用する活動」に積極的に取り組んで下さい。この地道な努力が、「なりたい自分」から「なれる自分」の過程に好影響をもたらします。

教科の学びの習得は、あなたの夢をひろげます。ともに頑張りましょう!!

1 国語科の学習について

学習のねらい	(1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。 (2) 論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う
授業のすすめ方	(1) 授業の流れは①言語事項の基礎基本（漢字学習）②めあての提示③課題に向き合う場面（交流）④まとめ・振り返りの流れで進めていきます。 (2) 「話すこと・聞くこと」とに関しては、話す聞く単元の学習や各学期に1度のスピーチ、聞き取りテストを通して、学習を深めていきます。 (3) 「読むこと」に関しては、教科書の本文を読んで、考えたこと感じたことを友達と交流しながら考えを深めていきます。 (4) 「書くこと」に関しては、自分の意見や主張を書いて交流したり、授業中の学習の様子をノートに書いてまとめたりします。週末課題で200字作文に取り組み、自分の意見を表現する場を設けます。
学習上の留意点	国語は「言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力」をつけるための授業です。そのために (1) 自分の意見を持って積極的に表現しましょう。 (2) 友達との交流を通して、自分の意見考えを深めましょう。 (3) 授業中の大事なところはメモを取り、ノートは「自分の参考書」にしましょう。 (4) 家庭学習は授業で習った勉強と同じくらい大事です。必ず提出しましょう。

2 評価について

評価方法	評価は5つの観点で行います。 (1) 関心・意欲・態度…授業態度、プリントの保存（ファイル）、宿題の提出率 (2) 話すこと・聞くこと…スピーチ、授業中の発表、聞き取りテスト、単元のテスト (3) 書くこと…定期テスト、ノート、作文、 (4) 読むこと…定期テスト、単元テスト (5) 言語事項…漢字テスト、定期テスト、単元テスト
定期テスト	定期テストは3つの観点から出します。 読むこと…50～60% 言語事項…30～40% 書くこと…10%

3 年間指導計画

月	主な学習内容および項目	教材・教具等
4月	第1時 教科ガイダンス *基礎テスト *標準学力検査 ※教科シラバスを用いて学習内容や評価方法について説明する。 未来へ 単語の分類 連体詞・副詞・接続詞・感動詞	国語の持ち物 ①国語辞典 ②教科書 ③ノート ④ワーク（国語の学習） ⑤国語便覧 ⑥ファイル 文房具（シャーペン、赤ペン、消しゴム、定規）
5月	短歌を楽しむ 方言と共通語 字のない葉書 問題意識を持って聞こう 形の似た漢字 鯉節	
6月	用言の活用 漢字の意味 *1学期期末テスト 「食文化」のレポート 意見文	
7月	暑中見舞いを書こう 依頼状やお礼状を書こう 小さな労働者 本で世界を広げよう	
8月	*2学期実力テスト	
9月	哲学的思考のすすめ 反対意見を想定して書こう 助詞	
10月	同訓異字 古典作品教科月間 落葉松 枕草子・徒然草	
11月	*2学期中間テスト 平家物語 漢詩	
12月	話し言葉と書き言葉 助動詞 *2学期期末テスト *Webテスト 走れメロス 類義語・対義語	
1月	正しい言葉は信じられるか タウン誌の記事を推敲しよう	
2月	*学年末テスト リンクマップによる話し合い 同音異義語 *到達度調査	
3月	わたしが一番きれいだったとき	

4 授業をうける心構え

- ・チャイムが鳴る1分前には授業の準備をして着席し、立腰・黙想を行います。
- ・質問があるときや問いに答えるときは、黙って右手を真っ直ぐ挙げます。（無言挙手）
- ・今日の授業では何を学習するのかを確認し、目的意識をもって臨みましょう。
- ・わかったことや、自分の考えを積極的に発表しましょう。
- ・わからないことを教え合ったり、みんなの意見を聞いて考えを深めるなど、他の人とも協力して学習に取り組みましょう。
- ・ノートは黒板に書かれたことと、先生が授業で話した大事なこと、自分で気づいたことや調べたことを工夫してまとめましょう。
- ・学習課題をじっくり考え、わかったこと、課題を解決できたことに自信を持ちましょう。
- ・宿題、ノートやワークなどの提出物は期日を守りましょう。

5 家庭学習のアドバイス

- ・漢字の練習は声に出して勉強すると覚えやすいと言われています。手・目・耳・口を使って覚えましょう。
- ・教科書をすらすら読めることは、基礎中の基礎です。しっかりできるようにしましょう。
- ・テストで間違えた問題は必ず復習しましょう。
- ・漢字検定にも積極的に挑戦しましょう。（合格した人は成績に加味します）

平成31年度 球美中学校各教科シラバス

教科名	中学3年 国語科
教科担当	国吉 尚子
教科書名	新しい国語（東京書籍）
副教材名	国語の学習（浜島書店）…国語ワーク 積み上げ 国語（明治図書）…単元テスト 国語便覧（浜島書店） 国語辞典（各自）

はじめに：これから始まる学習に積極的に意欲を持ち、自ら学ぶ力を育成する（本校教育目標：知の側面）ことをめざし、教科ガイダンスを実施します。この1年間の学習について教科シラバスを示して説明します

21世紀は、知的基盤社会といわれています。球美中学生のみなさんがこの社会で、①生きていくため、②あこがれの職業につくため、③夢を実現するためには、中学校の各教科の授業の中で身につける「自ら学ぶ力」が、みなさんの将来に大きな力となって役立ちます。
球美中学校の各教科担当（教科の先生）は、みなさんに、「自ら学ぶ力」が身に付くよう、「今日の目標 → 目標を達成するための授業・活動 → 今日の目標が達成できたかのおまとめ・振り返り」による「わかる授業」を学校全体で実践します。
生徒の皆さんは、各教科の授業内容が実生活につながっていることを実感し、各教科が示す「基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得」できるよう努力してください。さらに、「各教科で学んだ基礎的・基本的な知識・技能を生かす活用する活動」に積極的に取り組んで下さい。この地道な努力が、「なりたい自分」から「なれる自分」の過程に好影響をもたらします。
教科の学びの習得は、あなたの夢をひろげます。ともに頑張りましょう!!

1 国語科の学習について

学習のねらい	(1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。 (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。
授業のすすめ方	(1) 授業の流れは①言語事項の基礎基本（漢字学習）②めあての提示③課題に向き合う場面（交流）④おまとめ・振り返りの流れで進めていきます。 (2) 「話すこと・聞くこと」とに関しては、話す・聞く単元の学習や各学期に1度のスピーチ、聞き取りテストを通して、学習を深めていきます。 (3) 「読むこと」に関しては、教科書の本文を読んで、考えたこと感じたことを友達と交流しながら考えを深めていきます。 (4) 「書くこと」に関しては、自分の意見や主張を書いて交流したり、授業中の学習の様子をノートに書いておまとめしたりします。週末課題で200字作文に取り組み、自分の意見を表現する場を設けます。
学習上の留意点	国語は「言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力」をつけるための授業です。そのために (1) 自分の意見を持って積極的に表現しましょう。 (2) 友達との交流を通して、自分の意見考えを深めましょう。 (3) 授業中の大事なところはメモを取り、ノートは「自分の参考書」にしましょう。 (4) 家庭学習は授業で習った勉強と同じくらい大事です。必ず提出しましょう。

2 評価について

評価方法	評価は5つの観点で行います。 (1) 関心・意欲・態度…授業態度、プリントの保存（ファイル）、宿題の提出率 (2) 話すこと・聞くこと…スピーチ、授業中の発表、聞き取りテスト、単元のテスト (3) 書くこと…定期テスト、ノート、作文、 (4) 読むこと…定期テスト、単元テスト (5) 言語事項…漢字テスト、定期テスト、単元テスト
定期テスト	定期テストは3つの観点から出します。 読むこと…50～60% 言語事項…30～40% 書くこと…10%

3 年間指導計画

月	主な学習内容および項目	教材・教具等
4月	第1時 教科ガイダンス *全国学力学習状況調査 *標準学力検査 ※教科シラバスを用いて学習内容や評価方法について説明する。 生命は 俳句の詠み方 味わい方 和語・漢語・外来語 間違えやすい敬語	国語の持ち物 ①国語辞典 ②教科書 ③ノート ④ワーク（国語の学習） ⑤国語便覧 ⑥ファイル 文房具（シャーペン、赤ペン、消しゴム、定規）
5月	形 連語・慣用句 熟語の構成・熟字訓 *1学期期末テスト	
6月	絶滅の意味 四字熟語 観察・分析して論じよう（意見文）	
7月	暑中見舞いを書こう	
8月	落語の秘密 本で世界を広げよう *2学期実力テスト	
9月	黄金の扇風機・サハラ砂漠の茶会 比較する 曖昧な文・分かりづらい文 送り仮名 古典作品教科月間	
10月	初恋 万葉・古今・新古今 *2学期中間テスト おくのほそ道	
11月	論語 言葉の移り変わり 文法のまとめ *2学期期末テスト	
12月	故郷 紛らわしい漢字	
1月	いつものように新聞が届いた 間違えやすい言葉	
2月	*学年末テスト チャート式討論 レモン哀歌	
3月	生ましめんかな	

4 授業をうける心構え

- ・チャイムが鳴る1分前には授業の準備をして着席し、立腰・黙想を行います。
- ・質問があるときや問いに答えるときは、黙って右手を真っ直ぐ挙げます。（無言挙手）
- ・今日の授業では何を学習するのかを確認し、目的意識をもって臨みましょう。
- ・わかったことや、自分の考えを積極的に発表しましょう。
- ・わからないことを教え合ったり、みんなの意見を聞いて考えを深めるなど、他の人とも協力して学習に取り組 みましょう。
- ・ノートは黒板に書かれたことと、先生が授業で話した大事なこと、自分で気づいたことや調べたことを工夫してまとめましょう。
- ・学習課題をじっくり考え、わかったこと、課題を解決できたことに自信を持ちましょう。
- ・宿題、ノートやワークなどの提出物は期日を守りましょう。

5 家庭学習のアドバイス

- ・漢字の練習は声に出して勉強すると覚えやすいと言われていいます。手・目・耳・口を使って覚えましょう。
- ・教科書をすらすら読めることは、基礎中の基礎です。しっかりできるようにしましょう。
- ・テストで間違えた問題は必ず復習しましょう。
- ・漢字検定にも積極的に挑戦しましょう。（合格した人は成績に加味します）